

平塚市下水道事業経営戦略

令和6年度 進捗状況報告書

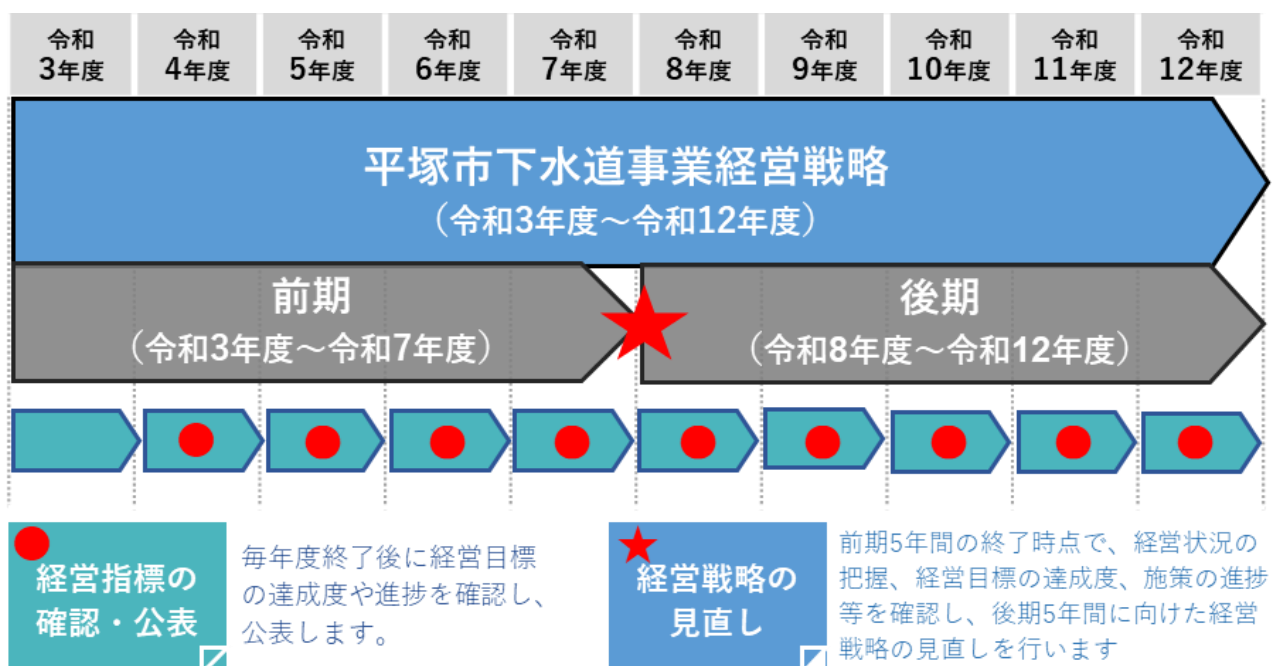
平塚市

はじめに

平塚市では、市民に下水道サービスを持続的・安定的に提供するとともに、中長期的な視点で経営環境の変化に対応し、一層の経営基盤の強化と収支が均衡する持続可能な経営を図るため、今後10年間に目指すべき方向と事業管理のあり方を示す「平塚市下水道事業経営戦略」（以下「経営戦略」という。）を令和2年度に策定しました。

この計画では、PDCAサイクルを確実に実施するため、毎年度終了後に、本経営戦略で掲げた経営目標の達成度や施策の進捗に関して確認を行い、公表するとともに、確認結果を基に次年度以降の施策の実施方法について改善を行うこととしています。

また、計画期間の前半5年を前期、後半5年を後期とし、中間年次の令和7年度に向けて前期の目標達成度合いの分析を実施し、必要に応じた経営戦略の見直しを行います。



【経営目標の達成度確認方法】

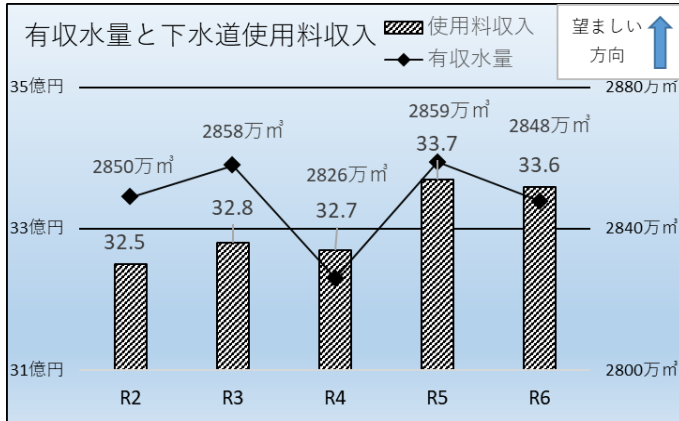
毎年度終了後に、決算数値などから経営指標を算出します。その結果を計画の目標数値と比較し、達成度や進捗状況の確認を行います。

また、類似団体との比較^{※1}を行い、経営状況を把握します。

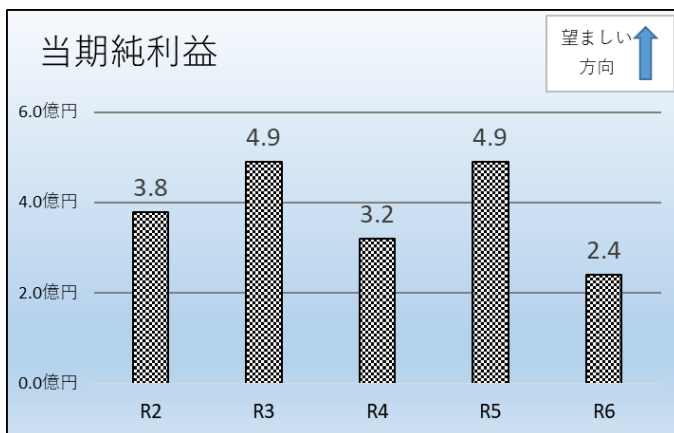
※1…経営戦略では、現状分析で行う比較対象団体として10団体（小田原市、茅ヶ崎市、川越市、所沢市、春日部市、柏市、流山市、八千代市、宝塚市、那覇市）を選定^{※2}していますが、各団体の令和6年度の決算数値や経営指標の公表時期に差異があることから、比較データは総務省ホームページの「地方公営企業の決算（令和5年度）」に掲載されている各団体のデータを参考として使用しています。なお、本報告書内での類似団体平均値とは、すべて平塚市を含む数値です。

※2…総務省による類似団体の分類を参考に①事業規模、②地理的条件、③流域下水道に接続していることのほか、下水道普及率及び神奈川県内の地域性を考慮し選定しました。

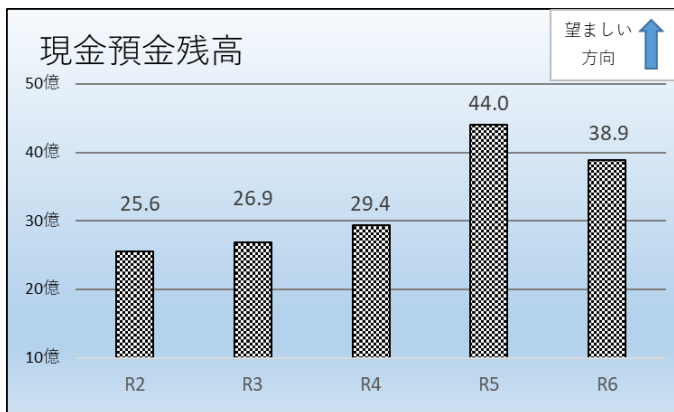
令和6年度 決算の状況



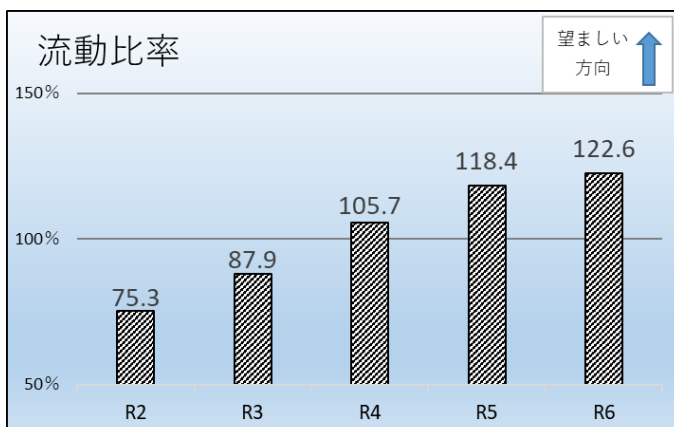
有収水量は、家庭用、事業用ともに排水量が減少し、前年度と比べて11万m³減少しました。下水道使用料は有収水量の減少により、前年度と比べて0.1億円減少し、33.6億円となりました。



当期純利益は、下水道使用料収入の減少や維持管理費の増加等により、前年度と比べて2.5億円減少し、2.4億円となりました。平成28年度の企業会計移行後9年連続で純利益を計上しました。

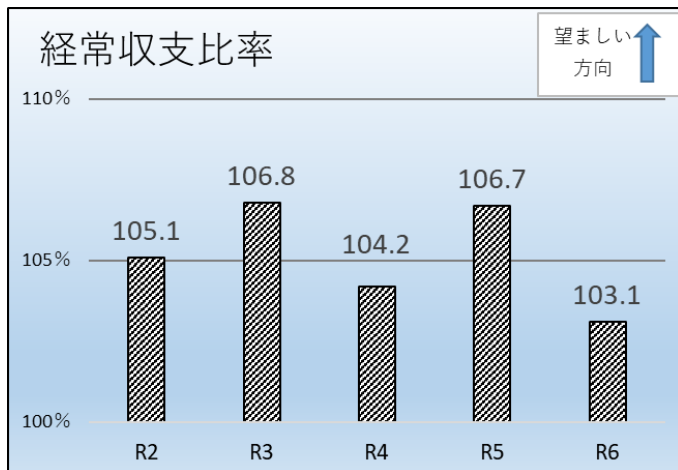


現金預金残高は、管渠費、ポンプ場費及び流域下水道維持管理負担金の増加により、前年度と比べて5.1億円減少し、38.9億円となりました。



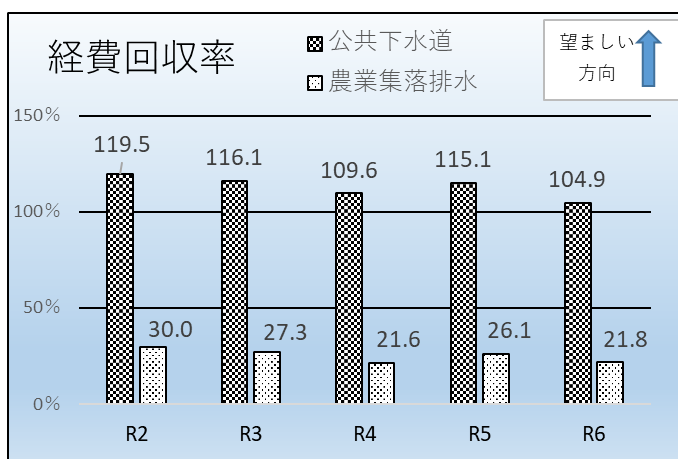
流動比率は、流動負債に対する支払い能力を示す指標で、現金預金の確保と企業債償還額の減少により、比率は増加傾向にあります。前年度と比べて4.2ポイント増加して122.6%となり、3年連続で100%を超える結果となりました。

(令和5年度の類似団体平均値：136.4%)



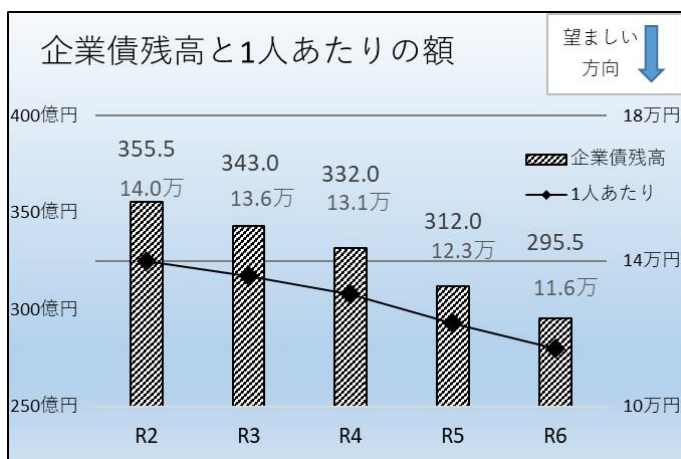
経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄えているかを示す指標です。前年度と比べて3.6ポイント減少し、103.1%となりました。

(令和5年度の類似団体平均値：96.9%)



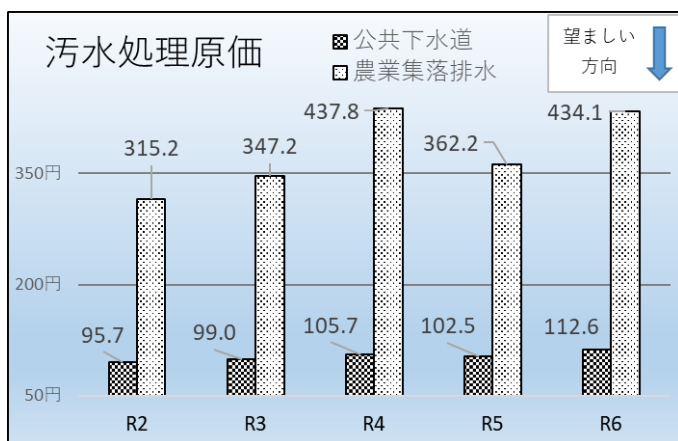
経費回収率は、汚水処理費用を下水道使用料収入でどの程度賄えているかを示す指標です。公共下水道・農業集落排水ともに、前年度と比べて汚水処理費は増加し、使用料収入が減少したため、公共下水道は10.2ポイント減少の104.9%、農業集落排水は4.3ポイント減少の21.8%となりました。

(令和5年度の類似団体平均値：99.6% (公共下水道))



企業債残高は、計画的な償還により減少傾向にあり、前年度と比べて16.5億円減少し、295.5億円となりました。1人あたりの額については前年度と比べて0.7万円減少し、11.6万円となりました。

(令和5年度の類似団体平均値：211.1億円)



汚水処理原価は、有収水量1㎡あたりの汚水処理費です。公共下水道・農業集落排水ともに、前年度と比べて汚水処理費は増加し、公共下水道は10.1円増加の112.6円/㎡、農業集落排水は71.9円増加の434.1円/㎡となりました。

(令和5年度の類似団体平均値：125.7円/㎡ (公共下水道))

平塚市下水道事業経営戦略 経営目標 進捗状況(令和6年度末時点)

活動指標	基本方針②					
ヒ ト	下水道事業を担う人材の育成と効率的な業務環境づくり					
「組織・人材」						
	実績値 (令和4年度)	実績値 (令和5年度)	実績値 (令和6年度)	目標数値 (令和7年度)	目標値との差	目標数値 (令和12年度)
研修受講者数	70人	110人	94人	60人	+34人 ○(達成)	60人
労働生産性 (営業収益/損益勘定職員数)	213,494千円	199,715千円	193,253千円	231,000千円	-37,747千円 △(未達成)	231,000千円

※労働生産性：労働の成果を労働量で割ったもの。ここでは職員1人当たりでどれだけ成果を生み出したかを示す。

※損益勘定職員：下水道事業に所属している職員のうち、主に収益的収入及び支出に関する業務に従事している職員。

○研修受講者数は、令和5年度から16人減少し、94人となりました。

○労働生産性は、営業収益は増加したものの職員数はさらに増えたため、令和5年度から6,462千円減少し、193,253千円となりました。

経営指標	基本方針③					
カ ネ	下水道事業の経営の効率化と経営基盤の強化					
「財務」						
	実績値 (令和4年度)	実績値 (令和5年度)	実績値 (令和6年度)	目標数値 (令和7年度)	目標値との差	目標数値 (令和12年度)
経費回収率 (公共下水道)	109.6%	115.1%	104.9%	100%以上	+4.9ポイント ○(達成)	100%以上
当期純利益	3.21億円	4.88億円	2.39億円	黒字確保 建設改良積立1億円	+1.39億円 ○(達成)	黒字確保 建設改良積立1億円
流動比率	105.7%	118.4%	122.6%	70%以上	+52.6ポイント ○(達成)	75%以上

○経費回収率は、汚水処理費が増加し、使用料収入は減少したため、令和5年度から10.2ポイント減少し、104.9%となりました。

○当期純利益は、企業会計移行後から9年連続で利益計上していますが、令和5年度から2.49億円減少し、2.39億円となりました。

○流動比率は、現金預金の確保及び企業債償還額の減少により、令和5年度から4.2ポイント増加し、122.6%となりました。

活動指標	基本方針④					
情 報	下水道情報の発信拡充による認知向上					
「広報」						
	実績値 (令和4年度)	実績値 (令和5年度)	実績値 (令和6年度)	目標数値 (令和7年度)	目標値との差	目標数値 (令和12年度)
エンゲージメント率	5.8%	2.2%	2.5%	19.7%	-17.2ポイント △(未達成)	19.7%
イベント参加人数	48人	780人	698人	500人	+198人 ○(達成)	500人

※エンゲージメント率：SNSの投稿に反応したユーザーの割合。投稿に反応したユーザー数を、投稿を見たユーザー数で割り、百分率で表したものです。

○エンゲージメント率は、令和5年度から0.3ポイント増加し、2.5%（X（旧Twitter）及びFacebookの投稿閲覧数1,372件、反応数34回）となりました。

○イベント参加人数は、令和5年度から82人減少しましたが、（公財）神奈川県下水道公社主催の「下水道ふれあいまつり」に698人が参加しました。

まとめ

令和6年度は、公営企業会計移行後9年連続で純利益を計上するとともに、健全経営の水準とされる経常収支比率100%超を維持することができました。

企業債の計画的な償還を進めたことにより「企業債残高」は減少傾向にあり、「流動比率」は現金預金の確保にも努めたことで、理想値とされる100%以上を3年連続で達成し前年度を上回る結果となりました。

その一方で、物価や人件費の上昇などにより、「当期純利益」、「経常収支比率」、「経費回収率」及び「汚水処理原価」は、前年度と比べていずれも減少となりました。また、「下水道使用料収入」は、公共下水道、農業集落排水、家庭用及び事業用のいずれも有収水量の減少に伴い前年度から減少となりました。

令和6年度決算では、前年度に比べて収益は1.9億円増額となりましたが、費用も4.4億円増額となり、純利益は前年度から2.5億円減と半減しました。また、国からの交付金も予定額よりも少額となるなど、厳しい経営状況となりました。

今後も持続可能な経営を図るため、一層の経費削減や業務の効率化に努めた上で、国からの交付金の更なる確保や、下水道使用料のあり方の検討など、財源の確保にも一層努めていく必要があります。

経営戦略の推進にあたり、引き続き毎年度の進捗管理を行うとともに、各経営目標等の達成に向け、取組みを強化します。また、令和7年度には、投資・財政計画や経営目標の必要な見直しなど、後期5年間にに向けた経営戦略の見直しを行います。

平塚市下水道事業経営戦略 令和6年度 進捗状況報告書

令和7年8月

平塚市 土木部

下水道経営課・下水道整備課

〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号

電話：0463-23-1111（代表）